

笛吹市 議会だより

令和3年4月23日発行

2021
Vol.66



令和3年2月定例議会提出案件一覧表

○賛成 ●反対 一棄権
(保坂利定議長を除く)

種別	案件名	笛新会			新風会			誠和会	公明党	笛政クラブ	日本共産党	無党派	結果									
		海野利比古	保坂利定	神宮司正人	荻野謙一	神澤敏美	武川則幸	落合俊美	岡由子	山田宏司	河野正博	小林始		中村正彦	渡辺清美	中川秀哉	前島敏彦	古屋始芳	渡辺正秀	河野智子	野澤今朝幸	
専決	・一般会計補正予算（第10号）の専決処分の承認	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認								
条例改正制定	・行政組織条例の一部改正	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決								
	・職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正																					
	・地域経済牽引事業促進区域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部改正																					
	・移住定住お試し住宅条例の一部改正																					
	・国民健康保険条例の一部改正																					
	・学童保育室条例の一部改正	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決							
・特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正																						
・介護保険条例の一部改正																						
・指定居宅介護支援等の事業に関する基準等を定める条例の一部改正																						
・都市公園条例の一部改正																						
・水道事業の設置等に関する条例等の一部改正	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決								
・介護保険条例の一部改正	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決								
令和2年度補正予算	・一般会計補正予算（第11号） ・国民健康保険特別会計補正予算（第5号） ・介護保険特別会計補正予算（第4号） ・水道事業会計補正予算（第4号） ・公共下水道事業会計補正予算（第4号） ・市営春日居地区温泉給湯事業会計補正予算（第1号） ・簡易水道事業会計補正予算（第1号） ・一般会計補正予算（第12号）	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決								
令和3年度当初予算	・一般会計予算	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	・国民健康保険特別会計予算	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	・介護保険特別会計予算																					
	・介護サービス特別会計予算																					
	・後期高齢者医療特別会計予算																					
	・農業集落排水特別会計予算																					
	・境川観光交流センター特別会計予算																					
	・森林経営管理特別会計予算																					
	・黒駒山恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計予算																					
	・大積寺山恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計予算																					
	・稲山恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計予算																					
	・牛ヶ額恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計予算																					
	・大口山恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計予算																					
	・崩山恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計予算																					
	・名所山恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計予算																					
	・春日山恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計予算																					
	・兜山外五山恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計予算																					
・水道事業会計予算																						
・市営春日居地区温泉給湯事業会計予算																						
・公共下水道事業会計予算																						
・簡易水道事業会計予算																						
その他	・変更契約の締結（新道峠展望台整備工事（債務）） ・市道廃止 ・市道認定	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
人事	・教育委員会教育長の任命 ・固定資産評価員の選任 ・黒駒山恩賜県有財産保護財産区管理会委員の選任 ・牛ヶ額恩賜県有財産保護財産区管理会委員の選任	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意	
発議	・笛市議会会議規則の一部改正	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	

用語解説

- ※1 専決処分とは…議会の議決が必要な事項を、市長が議会に諮らず自分で決めること。緊急で議会を招集する時間がない時など限られた場合のみ認められる。
- ※2 請願とは…住民が市政等について直接市議会に要望できる制度。（議員の紹介が必要）
- ※3 意見書とは…議会としての意見や希望を意見書として国、県などの関係行政庁に提出することができる。住民代表である議会の総意として尊重される。

2月議会・会期日程

- 2月12日（金） 議会運営委員会、全員協議会
- 2月19日（金） 開会
- 本会議
 - ・ 会議録署名議員の指名
 - ・ 会期の決定
 - ・ 市長施政方針
 - ・ 提出議案の説明
 - ・ 質疑・討論・採決
- 3月2日（火） 本会議 質疑および代表質問
- 3月3日（水） 本会議 質疑および一般質問・委員会付託
- 3月5日（金）～8日（月） 各常任委員会（付託事件審査）
- 3月12日（金） 本会議
 - ・ 委員会審査報告
 - ・ 討論・採決
- 3月15日（月）～17日（水） 各常任委員会（付託事件審査・当初予算）
- 3月23日（火） 議会運営委員会、全員協議会
- 本会議
 - ・ 委員会審査報告
 - ・ 追加議案の提出
 - ・ 質疑・討論・採決
- 閉会

議会日誌 GIKAI diary

12月 December

- 1日 第4回定例会本会議（開会）、議会改革委員会
- 3日 峡東地域水道企業団各市代表者会議
- 4日 正副議長就任あいさつ
- 7日 峡東地域広域水道企業団、議会全員協議会
峡東地域広域水道企業団、臨時議会
- 8日 笛吹市桃せん孔細菌病対策本部
- 9日 第4回定例会本会議（一般質問・付託）
議会広報編集委員会
- 11日 議会常任委員会
- 14日 議会常任委員会
- 18日 議会運営委員会、全員協議会
第4回定例会本会議（最終日）、議会広報編集委員会
- 19日 第24回「俳句の里」全国小学生・中学生俳句会表彰式
- 22日 東八代広域行政事務組合議会（全員協議会・本会議）

1月 January

- 4日 笛吹市仕事始め式
- 5日 新春交歓会・受章者祝賀会

- 7日 議会広報編集委員会
- 21日 「笛吹市桃源郷春まつり」ポスターデザインコンテスト審査会
- 22日 緑化推進会議
- 26日 定例全員協議会、議会広報編集委員会
- 10日 笛吹市消防団出初式、笛吹市成人式
- 15日 令和3年交通安全祈願祭
正副議長、リニア対策特別委員会正副委員長就任あいさつ

2月 February

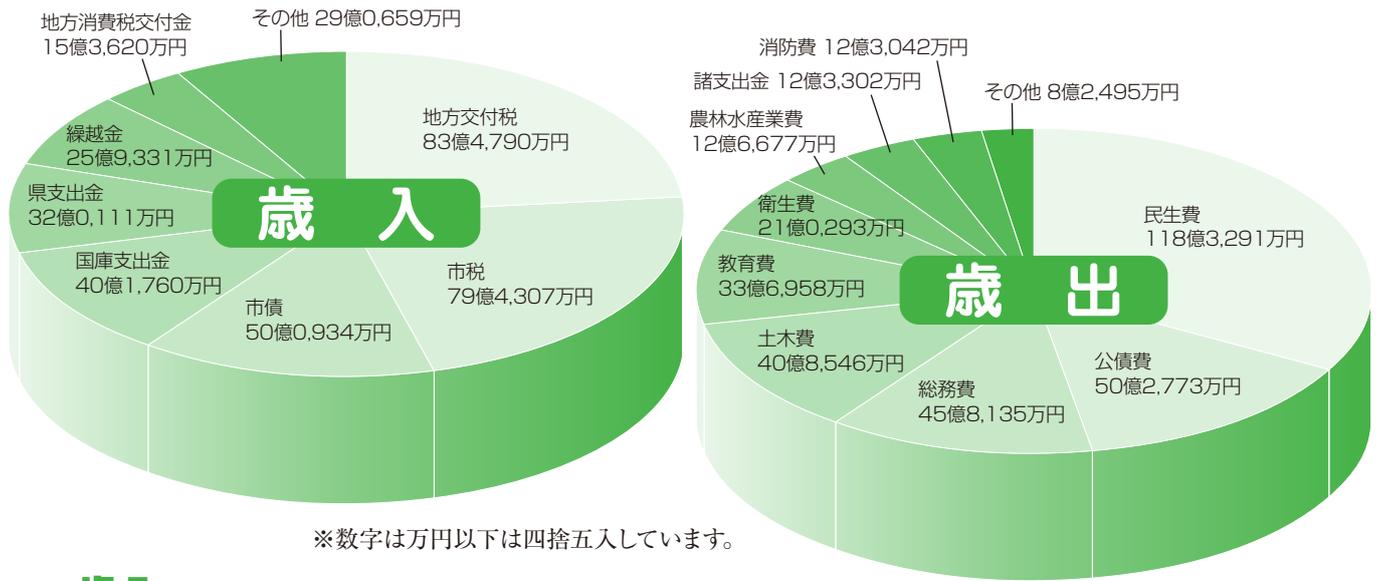
- 5日 笛吹市社会福祉大会、峡東地域広域水道企業団議会研修
- 8日 東八代広域行政事務組合議会（全員協議会）
- 12日 議会運営委員会、議会全員協議会
- 16日 会派別説明会
- 17日 通告確認会議（通告確認および許可）
- 18日 東山梨行政事務組合議会（全員協議会・定例会）
- 19日 第1回定例会本会議（開会）、議会広報編集委員会
- 24日 山梨県後期高齢者医療広域連合議会
（議会運営委員会・全員協議会・定例会）

視察研修受け入れ

令和3年3月30日（火）静岡県牧之原市議会

静岡県牧之原市の議会議員全員と市長、執行部、議会事務局17名での「リニア中央新幹線実験線工事による水枯れ問題について」の視察研修を受け入れました。





歳入

地方交付税	国が所得税、法人税などの国税の一定割合を市の財政力に応じて交付するもの
市税	市民税、固定資産税、軽自動車税、たばこ税など
国庫支出金	国から交付される補助金など
市債	道路や施設などを整備するための市の借金
繰入金	繰入金
県支出金	県から交付される補助金など
地方消費税交付金	国が所得税、法人税などの国税の一定割合を市の財政力に応じて交付するもの
その他	財産収入、寄付金など

歳出

民生費	老人福祉、児童福祉、障害者福祉など
公債費	市債を返すための費用
総務費	交通・防災の安全対策、広報活動、庁舎の管理など、戸籍事務、選挙などの経費
土木費	道路の新設整備や改修、河川の整備、市営住宅の管理など、公園整備や管理
教育費	小中学校や保育所などの教育環境の整備、スポーツ・生涯学習など
衛生費	健康予防、子育て支援、環境衛生、疾病予防、水道などの経費
農林水産業費	農業・林業等の振興および整備
諸支出金	基金への積み立て
消防費	消防、災害復旧、諸支出金
その他	議会運営費など

会計名		令和3年度当初予算額	令和2年度当初予算額	増減割合
一般会計		355億5,511万円	321億9,469万円	10.4%
特別会計	国民健康保険	83億0,043万円	87億3,692万円	-5.0%
	介護保険	66億6,999万円	68億7,774万円	-3.0%
	介護サービス	1,202万円	961万円	25.1%
	後期高齢者医療	15億7,094万円	16億2,352万円	-3.2%
	農業集落排水	4,725万円	4,662万円	1.3%
	境川観光交流センター	1億0,182万円	1億5,000万円	-32.1%
	森林経営管理	1,315万円	1,310万円	0.4%
	黒駒山外8財産区管理会(合計)	5,644万円	5,829万円	-3.2%
企業会計	水道事業	30億5,712万円	29億1,860万円	4.7%
	公共下水道事業	36億1,587万円	36億4,285万円	-0.7%
	春日居地区温泉給湯事業	7,794万円	7,296万円	6.8%
	簡易水道事業	3,147万円	3,178万円	-1.0%

令和3年度一般会計予算

総額 355億5,551万円を可決

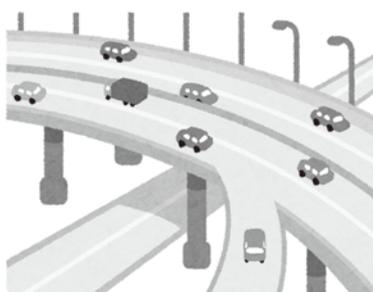
前年対比

33億6,042万円 10.4%増

令和2年度予算 おもな使いみち

新山梨環状道路関連道路整備事業

9億2,157万円



浅川中学校校舎等改修事業

7億4,886万円



ふるさと納税事業

6億2,259万円



モモせん孔細菌病防除対策事業

2億6,391万円



笛吹みんなの広場整備事業

1億6,895万円



病児・病後児保育事業

1,171万円



追加
議案

令和2年度笛吹市

一般会計補正予算(第12号) 令和3年3月23日

新型コロナウイルス感染症対策に係る事業

総額 8億7,022万円

おもな事業内容

新型コロナウイルス感染症予防接種事業 1億9,613万円

笛吹市消費喚起キャンペーン事業 1億6,165万円

宿泊料金割引事業 1億4,602万円

新型コロナウイルス検査費用助成事業 2億1,385万円 ほか3事業

- 笛新会 神宮司正人議員 …6
- 新風会 落合 俊美議員 …8
- 誠和会 小林 始議員 …9
- 公明党 中川 秀哉議員 …10
- 笛政クラブ 前島 敏彦議員 …12
- 日本共産党 渡辺 正秀議員 …13

2月
定例議会

市民の声

質疑および代表質問

本会議では、6会派を代表して6人の議員が代表質問をしました。以下の記事は代表質問と答弁を要約したものです。



笛新会

神宮司正人 議員

問 令和3年度の当初予算案は

神宮司正人議員 ① コロナ禍における令和2年度の財政運営の状況は。
② 予算編成に腐心したところは。本年度との比較は。

答 本年度より
10・4%増

山下政樹市長 ① コロナ対応などにより、11回の補正予算を編成した。予算総額は前年度繰越額を含め、457億6、673万円と過去最高額となった。財政調整基金からの繰入金5億9、251万円を予定しており、例年になく厳しい財政運営となった。
② 国県支出金の積極的な活用をはじめ、前年度以上の市債を発行した。重点事業には特定目的基金を、コ

ナ関連経費には減債基金を活用した。

問 新型コロナウイルス感染症対策は

神宮司議員 ① 個人事業主に対する支援金の活用実績は。

② 高齢者などへのワクチン接種の予定、体制整備、全対象者の終了予定は。
ア、接種場所は。
イ、接種体制は。
ウ、高齢者の移動支援は。
エ、妊婦のワクチン接種は。
③ 今後の観光対策は。
ア、GOTOトラベルキャンペーン終了後の取り組みは。
イ、信玄公生誕500年イベントに対する具体策は。
④ 地域支援・振興策は。

ア、地域振興券の発行は。イ、電子決済を活用した消費喚起キャンペーンの実施は。
ウ、新たな感染の波に備えた市民生活の支援は。

答 医師会と連携

山下市長 ① 令和3年2月28日現在、給付は1、800件。

② ア、個別接種は笛吹市医師会と調整している。集団接種は病院施設の借り上げ、公共施設の利用も検討している。

イ、4月以降に高齢者から開始し、令和4年2月末までに、全市民へ接種を完了する計画。
ウ、交通手段のない高齢者や障害者に、初乗り料金4回分のタクシー券の交付を検討している。
エ、国の方針に従い、主治医と相談の上、希望者は接種できる。

③ ア、観光キャンペーンなどの準備を進め、状況を分析し、対応策を検討する。
イ、3月20日、キックオフ

イベントが甲府駅北口広場で開催される。本市は、川中島合戦絵巻のPR、石和温泉郷の芸妓の舞踊と三味線演奏を披露する。
④ ア、現時点で地域振興券の発行は考えていない。
イ、決済額の一部をポイントとして還元するキャンペーンの実施を検討している。
ウ、感染拡大予防を図り、必要に応じて支援に取り組む。

問 防災対策は

神宮司議員 ① 地区防災計画策定支援のモデル地区選定とスケジュールは。

② 地区防災計画策定の行政区への周知、支援は。策定後の取り扱い。
③ 地方防災会議の女性委員の比率向上は。

答 被害想定区域分類
に対応

山下市長 ① 3年間かけ、一般区域、浸水想定区域、土砂災害警戒区域の順に、各年度1つの指定避難所を選び、そこが避難先となっ



ている行政区をモデル地区とする。今年度中に計画のひな型を作成する。

②ひな型作成後、区長会、出前講座などを活用し、計画策定作業を支援する。策定後は行政区の防災訓練などで実践し、検証・修正を行う。

③委員26人中女性は4人、15・4%。比率向上を検討。

問 道路網整備計画の検討状況は

神宮司議員 ①都市計画道路の見直しは。

②市道1・8号線拡幅整備は。

③国道137号、新たな御坂トンネルへの対応は。

④市道1・28号線の県道移管は。

答 令和3年度から見直しを進める

山下市長 ①令和3年度から、未整備路線について廃止を含む見直しを進める。

②都市計画道路見直しに合わせ、計画立案する。

③観光路線としての利便性、災害時の避難路としての機

能性が向上する。県にできる限り協力する。

④道路網構築に寄与する。移管を強く要望する。

問 市の主幹産業である農業は

神宮司議員 ①モモせん孔細菌病への対応は。ぶどうの晩腐（おそぐされ）病などの見直しは。

②桃・ぶどうの生産量日本一を誇る、市内農産物の輸出拡大は。

答 防除対策を徹底

山下市長 ①モモせん孔細菌病は、地域ぐるみの一斉

防除などで、前年度に比べ抑え込むことができた。晩腐（おそぐされ）病などは天候に左右されることから、発生について見通すことはできないが、早期の対応に努めたい。

②JAふえふきと連携し、定着市場の香港、台湾、シンガポール、有望市場とされるタイ、マレーシアなど、東南アジアへの輸出拡大に取り組む。

問 学校教育環境は

神宮司議員 ①GIGAスクール構想によるICT機器整備の進捗は。

②25人学級導入における課題は。

③非接触型自動水栓の整備は。

答 体制整備に努めた

山下市長 ①各教室に大型提示装置を整備、2学期から教師用タブレット、デジタル教科書を活用した授業を実施している。1人1台

端末4、235台の納入、校内無線LANの設置は、2月中に完了した。

②新年度から小学校1年生に導入される。今後2年生以上に拡大された場合、教室の不足が懸念される。

③コロナ対策として、水道の蛇口1、033カ所を自動水栓に交換した。

問 八千蔵・高家地区の残された課題は

神宮司議員 地域要望として残されている、開発等整備事業計画の進捗は。

答 計画的に取り組んでいる

山下市長 5・5畝の農地

基盤整備事業は、令和2年度に着手、令和9年度の完成予定。農道1路線と用排水路整備は、来年度に工事着手。農道2路線と畑地かんがい未加入地整備は、今年度、基本設計を行っている。ため池跡地利用は、八千蔵区で検討している。

問 リニアトンネル湧水の活用は

①リニアトンネルからの湧水量の変化と活用策および水利権は。

②湧水を活用したマイクロ水力発電は。

答 小水力発電の予定はない

山下市長 ①②平成25年3月20日の測定では、湧水量は毎分12・6m³。その後は変化は見られない。水利権は市にある。平成21年度にリニア水資源有効活用協議会を設置して検討し、落差が少ないこと、砂防指定地であることなどから、小水力発電は有効活用とならないとの結論を得た。

代表質問



新風会

落合 俊美 議員

令和3年度当初予算編成は

落合俊美議員 ①市税の減

収見込みと対応は。

②コロナ禍の長期化に伴い、予算に計上した対策は。

③コロナ感染の終息を見据えた地域経済浮揚策は。

④令和2年度のさらなる経済対策支援は。

答 コロナ対策費は
8億5190万円

山下市長 ①すべての税目

で減収を見込み、前年度比6億9、749万円減の79億4、306万円を予算計上した。減収分は、普通交付税や地方特例交付金の増額および臨時財政対策債の発行で補てんで見込み。

②ワクチン接種など感染症対策に必要な経費を計上。経済対策は、必要に応じて

補正予算を編成する。

③笛吹みんなの広場オープンングイベント開催、新道峠展望台整備、多目的芝生グラウンド整備検討の3事業を実施する。

④キャッシュレス決済額の一部をポイント還元する、消費喚起キャンペーンの実施を検討している。

問 新型コロナウイルス
感染症ワクチン接種は

落合議員 ①接種の手続きと周知方法は。

②安全性調査に参加する医療従事者の確保は。
③接種会場は。高齢者や基礎疾患のある方などの確認は。

④副反応による健康被害が生じた場合の対応は。

答 接種券と
予診票を郵送

山下市長 ①市から接種券と予診票を郵送する。電話

かオンラインで日時を予約し、当日、必要事項を記入した予診票を持参する。広報紙、ホームページ、SNS、折り込みチラシなどで周知に努める。

②2月19日から山梨病院で県が実施している。

③個別接種は病院・診療所で、集団接種は病院施設の借り上げ、公共施設の利用を考えている。基礎疾患や持病のある方は、事前にかかりつけ医に相談してほしい。

④接種会場で約30分待機、医療スタッフが対応。その後、症状が出た場合は、接種した医療機関やかかりつけ医、県のコールセンターが対応する。

問 農業振興、農業塾は

落合議員 ①年々減少して

いる農家の育成は。
②第2次笛吹市総合計画実

実施画に掲げられた「活力に満ちた果樹農業地帯の創造」の具体策は。

③世界農業遺産登録申請に向けての対応は。

④農業塾の実績と課題は。

⑤農業塾の設置目的を達成するための対応は。

答 新規就農を支援

山下市長 ①市独自の就農支援補助金を交付。現在受給者は28人。農業塾は、担



い手の定着や育成を支援している。県やJAと連携し、農業技術の習得、国・県・市の補助金の案内など就農者支援をしていく。

②市内8カ所で、農業用導水路・圃場整備、農地集積・集約化を進め、継続して経営できる環境整備を図っている。

③書類審査は完了している。現地調査、最終審査を経たのち認定される予定。

④⑤開設前に比べ、認定農業者や新規就農者の相談が多くなり、講習会参加者も増加した。第3者継承は、高齢農家からの相談があり、新規就農者への農地の紹介などの支援ができた。3月22日から農業塾事務所を市役所1階の農業委員会隣に移転する。

問 境川町大坪地区
浸水対策は

落合議員 ①事業の概要は。

②浸水対策に要した費用の総額は。

③令和3年度当初予算に計上された工事請負費の内容と完成時期は。

答 堤防と調整池を建設

山下乡長 ①排水先の笛吹川の水位上昇によるバックウォーターに備え、堤防と調整池を建設するとともに、流下能力の向上のため水路を改修する。

②設計費、工事費などで約7億1千万円。用地補償費が約8千万円。

③調整池の南側に大坪尻川への排水路を設置する。完成は出水期前を目指している。

問 浅川中学校改修工事

落合議員 ①長寿命化改修による経費削減効果は。

②工事概要、総事業費、スケジュールは。

③改修と長寿化における建物の耐用年数の差異は。

答 令和5年4月 供用開始予定

山下乡長 ①躯体の新築・解体に係る費用が発生せず、工期も短縮される。一般的に新築と比べ、3割から4

割程度の削減が可能。

②コンクリートの中性化対策、耐久性に優れた部材の使用、水道・電気の更新、省エネ化やバリアフリー化、防火機能強化など。総事業費は、21億6、500万円を見込んでいる。令和3年度は、夏休みを中心に付帯施設工事を実施し、冬休みに仮設校舎へ引っ越し、3学期から校舎全体の改修工事に着手する予定。

問 病児病後児保育事業の実施

落合議員 ①病児病後児保育事業における市外施設の利用実績は。

②病児病後児保育施設の設置場所、定員、利用料金は。

③開設時期と今後のスケジュールは。

山下乡長 ①広域利用が始まった、平成30年度は延べ349人、令和元年度は延べ418人、令和2年度は11月末現在で延べ81人。
②一宮町坪井にある医療法人桃花会一宮（いちのみ

や）温泉病院に設置。定員は3人。利用料金は、市民1日2、000円、市外の方2、500円。生活保護世帯、市町村民税非課税世帯は無料。



誠和会

小林 始 議員

問 令和3年度当初予算案は

小林始議員

①当初予算編成で苦慮した点、配慮した点は。

②新規事業は。

③スクラップ化した事業は。

④人件費の増額理由と総職員数の変動は。

⑤行政区の予算は。

答 財源確保に苦慮

山下乡長 ①コロナの影響で、市税の減収が見込まれ、財源確保に苦慮した。重点事業には、公共施設整備等基金やまちづくり基金など

③令和3年5月の開設を目指し、4月以降、施設改修や備品整備を行い、県に事業開始を届ける。

の特定目的基金を積極的に活用し、コロナ関連財源の捻出には、減債基金も活用した。

②「病児・病後児保育事業」「保育所施設整備管理事業」「地区防災計画」および「わが家の災害時行動計画」の作成支援、「空家等解体費支援事業」などを計上した。

③所期の目的を達成した「水辺活性化事業」、県の「出会いサポートセンター」活用による結婚相談と出会いイベント、参加者が少ないマタニティースクール、広告付き封筒導入による現行の窓口用封筒を廃止する。このほかに、34事業の見直しを行った。

④非正規職員の待遇改善を目的に、本年度から会計年度任用職員制度が導入されたことに伴い、これまで物件費に分類されていた賃金が、人件費に分類されることになった。また、フルタイム会計年度任用職員に退職手当負担金が生じること、「学力支援スタッフ」の配置、コロナ対策としてのパートタイム職員採用などにより人件費が増加した。

平成30年度と令和3年度を比較すると、正規職員は16人減、会計年度任用職員は74人増となっている。

⑤合併から16年が経過し、今般、県内他市の各自治会の状況を調査した結果、行政区や区長にお願いしている役割などは、ほぼ同様である一方、本市の交付額および支給額はかなり高額であることが分かった。今後は、交付額の見直し、地域要望に即した新たな支援策の創設など、総合的に検討したい。

代表質問



問 新型コロナ対策は

小林議員 ①ワクチン接種への対応は。

②税収の見込みは。

③コロナ感染拡大の影響を受けた業種へのさらなる支援は。

④各教室に大型提示装置を整備し、教師用タブレット、デジタル教科書を活用した授業を実施している。市の学力向上研究会では、効果的な指導法や教材開発の研究を進め、成果を各小中学校に還元する。

答 4月以降に接種開始

山下市長 ①対象者は16歳以上の市民、60、500人。医療機関を中心に、個別接種と集団接種を併用して行う予定。3月中旬には予約や相談に応じるコールセンターを設置し、3月下旬には65歳以上の高齢者に接種券と予約票を送付、4月以降に接種を開始する予定。

②前年度と比較して、市民税は6・8%減、固定資産税は約7%減を見込んだ。たばこ税は令和元年度と比べ約6%、入湯税は約60%減を見込んだ。
③本市の基本方針は、国や県の支援に単なる上乗せをするのではなく、基礎自治

体として、きめ細やかな支援を行うこととしている。キャッシュレス決済額の一部をポイント還元する、消費喚起キャンペーンの実施を検討している。

問 児童生徒用端末整備事業は

小林議員 ①児童生徒用端末整備事業の進捗状況は。

②オンライン授業導入による効果は。

③インターネット環境になり家庭への対応は。

④教材や研修は。

答 新学期から運用

山下市長 ①一人一台端末は、2月中旬には納入が完了した。随時初期設定作業を行い、新学期から本格的に運用する予定。
②臨時休校や分散登校の措置を取った場合、自宅などで、デジタル教材やユーチューブによる動画を活用した学習や双方向型の授業が可能となる。

③Wi-Fiルーターを192台購入、貸し出して



問 公金収納のキャッシュレス化の推進は

小林議員 公金収納のキャッシュレス化の進捗状況は。

答 4月からスマホ納付スタート

山下市長 ①市税は、4月



公明党

中川 秀哉 議員

問 新型コロナウイルスのワクチン接種は

中川秀哉議員 ①本市の人口に対する接種目標は。

②国・県から供給されるワクチンは。

③ワクチン接種2回完了までのスケジュールは。

④接種会場の準備状況は。

⑤市民からの相談窓口と周知は。

⑥交通弱者に対する移動手段は。

答 接種率80%が目標

山下市長 ①16歳以上の市民60、500人が接種対象。集団免疫獲得には、接種率70%以上が必要と言われている。対象人数の80%を目標としている。
②3月以降に医療従事者用としてファイザー社のワクチンが供給される予定。ア



ストラゼネカ社と武田・モデルナ社のワクチンは、国の承認が済んでいないため、供給予定は決まっていない。
 ③接種券と予約票を郵送する。希望者は、電話かオンラインで予約して接種を受け、3週間後に同じ医療機関で2回目を接種する。

④個別接種と集団接種の併用を予定している。集団接種は1日当たり、病院が約480人、公共施設が約180人の計画。

⑤ワクチンに関しては、メーカーや国の専用窓口、副反応については、県のコールセンターが対応する。市が設置するコールセンターは、予約、接種場所、接種券についての相談を受ける。
 ⑥接種会場への交通手段のない高齢者や障害者には、タクシーの初乗り料金4回分のタクシー券の交付を検討している。

問 新年度予算の重点政策は

中川議員 ①コロナ禍における市独自の重点支援事業は。

ア、コロナ禍における経済再建の見直しは。

イ、小規模・個人事業者への支援は。

ウ、中間所得世帯向けの支援は。

エ、子育て世帯、高齢者世帯向け支援は。

オ、障害者・介護世帯向け支援は。

②国土強靱化計画の延長に伴う地域の防災・減災対策は。

ア、公共インフラの老朽化対策の推進は。

イ、ゲリラ豪雨に対する砂

防堰堤、遊砂地などの整備、河道断面の拡大などの具体策は。

③県や周辺市町村と連携のまちづくり事業の進捗は。

ア、駅前開発は。

イ、企業誘致は。

ウ、雇用創出の具体策は。

答 コロナ対策などに努める

山下市長 ①ア、ワクチン接種者の増加に伴い、経済活動も順次、活性化されるものと考えている。

イ、ウ、エ、オ、総額8億

5、190万円のコロナ関連予算を計上した。経済対策は、今後、必要に応じて補正予算を編成したい。

②ア、橋梁は、5年に1回専門家が点検し、順次改修している。昨年度から万年橋の耐震補修工事を行っている。道路は、市道1・20号線「広域農道」の舗装修繕工事費を計上している。

水道施設は、耐震管への移行を行っている。耐震化率11・2%。新年度に基幹施設13カ所の耐震診断を実施する。下水道は、耐震化率84・2%。

イ、1級河川は、国・県により整備、堤防強化が着実に推進されている。市管理の河川は、浚渫により河川断面の確保に努める。県により、春日居町下岩下地内ほか3カ所で、砂防施設整備が予定されている。

③ア、個別施設計画および長寿化計画を令和3年3月末に策定の予定。

イ、市内9カ所の産業導入地区のうち8カ所は、すべて入居済み。残る境川町の石橋地区は、令和元年10

に約10社のエリア拡大を行い、企業誘致を進めている。現在、3社が操業に向けて準備している。

ウ、誘致企業による地元雇用には、県の産業集積促進助成金に市独自の加算を行っている。平成30年度から、笛吹高校に市内企業が直接出向いて就職説明会を実施している。全国的にも例のない試みとして好評。昨年度は14人の内定につながった。

問 市民のニーズに応える可燃ごみ収集対策は

中川議員 ①世帯数と行政区未加入世帯は。

②可燃ごみ保管場所の増設、終日回収できる曜日の設定または時間の延長は。

③有料指定ごみ袋代金の見直しは。

答 当面は現状の体制で

山下市長 ①令和3年1月1日現在、住民基本台帳の世帯数は2万9、779人。

行政区は住民による自主的な団体であり、市として加

代表質問



入世帯数を把握していない。
 ②新設の要望があった場合、現地調査し、必要性を確認した上で許可している。回収日の追加や時間延長は、区長や環境指導員の負担増につながるため、難しいと

考えている。
 ③令和3年2月4日、廃棄物減量等推進審議会に、ごみの処理手数料の全体的な見直しについて諮問した。答申後速やかに議会報告する中で、市の方針を示す。



笛政クラブ

前島 敏彦 議員

問 令和3年度の予算編成は

前島敏彦議員 ①今年度と比較した予算規模は。

②令和2年度決算の見込みは。

③今年の行動テーマを踏まえた予算編成の考えは。

答 14の新規事業を計上

山下市長 ①一般会計当初予算は、355億5、511万円。本年度より、33億6、042万円、10.4%増加した。ふるさと納

税寄付金の増額によるまちづくり基金積立金が12億191万円、新山梨環状道路関連整備事業に9億2、157万円、浅川中学校校舎等改修事業に7億4、886万円を計上し、さらにコロナ感染症関連経費として8億5、190万円を計上したことが主な増額要因。
 ②令和2年度はコロナ対策の実施により、予算総額は457億6、673万円と大幅に増加し、過去5年間

の執行率平均の89.4%から推計すると、歳出決算見込みは410億円程度になると考える。

③例年、行動テーマと予算編成方針は関連付けていない。当初予算には、30の重点事業のうち約半数の14の新規事業を計上した。チャレンジ精神をもって職員とともに取り組んでいく。

④事務事業評価の結果の反映とともに、スクラップ・アンド・ビルドの考え方を職員に周知徹底させ、新規事業を計上する場合は、必ず1件以上の事業を廃止することを求め、事務事業を見直した。

問 小中学校の教育は

前島議員 ①コロナ休校の影響が心配される。年間で学ぶべきことの達成は。

②高校受験への影響は。

③浅川中学校の大規模改修に伴う生徒への影響は。

④GIGAスクール構想への対応は。一人一台端末などの整備、オンライン授業の状況は。

答 新学期から一人一台端末

山下市長 ①夏季休業の短縮、カリキュラムの見直し

による授業時間の確保、学校行事の簡素化を行った。学力向上支援スタッフとスクールサポートスタッフ59人を追加し、授業の支援などを行い、学ぶべき内容について学習ができています。

②学習範囲の一部を入試の出題範囲から除く措置が取られた。きめ細かな進路指導により、現時点で大きな影響は出ていない。



③コロナ感染防止対策を徹底し、工期の短縮に努め、教育活動に支障が生じないように十分配慮する。

④ITC機器の整備、教職員の連絡会議や研究会の実施、授業での活用など、令和3年度の本格運用に向けて準備を進めている。一人一台端末などの納入は2月中に完了した。臨時休業や分散授業になった場合の家庭でのオンライン授業については、タブレットの持ち帰りのルールや学習内容を検討している。



問 市民の健康維持は

前島議員 ①集団検診の年
別別受診率は。

②コロナ禍での受診控えに
よる健康状態への影響は。

③コロナワクチン接種の特
別対策チームは。

答 コロナ対策には 全庁で取り組む

山下市長 ①20代が9%。
30代が25%、40代が41%、
50代が38%、60代が45%、
65歳以上が60%。

②国保の被保険者の受診状
況によると、昨年2月から
5月までの受診件数は例年
より減少したが、6月から
は増加し、その後は前年と
比較して大きな変化は見ら
れない。介護保険の認定状
況では、要介護状態の悪化
による区分変更申請が増加
した。コロナ禍で、外出や
施設利用を控えたことで、
身体機能が低下した可能性
が考えられる。

③4月以降のワクチン接種
に向けて、接種体制の構築、
予約や相談に応じるコール

センターの設置、接種状況
などの管理を行う情報シス
テムの整備といった準備作
業を行っている。本市では、
特別対策チーム的な体制は
取らずに、保健福祉部が他
の部署の協力も得ながら、
部を挙げて業務に当たって
いる。

問 税金と確定申告 会場対策は

前島議員 ①コロナ禍での
納税相談、徴収猶予は。

②コロナ禍での確定申告の
対応は。

答 相談件数は 約20%増

山下市長 ①本年度は、例
年に比べ相談件数は約20%
増えると推測している。特
例措置が設けられたことで、
徴収猶予件数は大きく増加
した。全体で延べ1000件。
特例制度によるものは、38
社の法人、12人の個人事業
主などに対する延べ97件。
令和元年度は7件。

②会場内の換気、来場者の
待機人数の制限、対応後の
除菌シートによる消毒など

に努めている。

問 笛吹みんなの広場 新道峠の整備は

前島議員 コロナ感染拡大
の影響は。工事の進捗状況
と供用開始の予定は。

答 広場の供用開始は 4カ月程度遅れる

山下市長 笛吹みんなの広
場の整備進捗率は、令和3
年1月現在16%で、当初計
画39%と比べ遅延している。
コロナの影響で、主要資材
の鉄骨の納入が遅れたこと
が大きな原因で、供用開始
も当初予定していた7月か
ら4カ月程度遅れる見込み。
新道峠の展望台整備は、冬
季で工事中断しており、昨
年11月末の進捗率が74%。
予定どおり7月中の供用開
始を目指している。

日本共産党



渡辺 正秀 議員

問 コロナ感染防止対策は

渡辺正秀議員 ①国のコロ
ナ対策に対する評価は。

②ワクチン接種の準備状況
と課題は。

③今後の感染防止対策や検
査体制強化における行政の
役割は。

④医療機関、高齢者施設職
員の感染防止対策支援と定
期PCR検査の実施は。

答 ワクチン接種体制 を準備中

山下市長 ①感染者の発生
状況や医療提供体制および
地域での感染拡大を防ぐた
めの公衆衛生体制のひっ迫
状況を見極めながら、適切
に対応していると考ええる。

②笛吹市医師会と4月以降
の接種開始に向け、医師や
看護師などの手配や確保お

よび接種体制について協議
を重ねている。ワクチンの
供給時期や供給量が明確に
されていないため、接種計
画が確定できないことが課
題だ。

③国は令和2年度第3次補
正予算においても、地域の
医療体制を維持・確保する
ための医療機関支援策など
必要な対策を実施するとし
ており、行政としての役割
は果たされていると考える。
市としても引き続き感染防
止対策に取り組んでいく。

④医療機関や高齢者施設で
クラスターが発生した場合、
重症化リスクの高い入院患
者や高齢者に感染者が大量
に発生する可能性があり、
これを防止することは、感
染症対策として有効。現在、

代表質問



新規入院患者・入所者へのPCR検査費用の助成を検討している。職員に対する定期PCR検査は、地域的に感染者が多数発生している状況ではないため、現時点では予定はない。

問 生活保護の活用は

渡辺議員 ①国民の健康で文化的な生活を営む権利保障、必要な人が利用できる生活保護制度についての考えは。

②生活保護受給には壁がある。



る。資産要件が厳しすぎる。市の柔軟な対応と国への改善の求めは。

③扶養照会の強要、申請者の意向を無視した照会はすべきでない。

④生活保護が国民の権利であり、健康で文化的な生活を保障することは国の義務であることや、申請者の尊厳についての職員への徹底は。

答 適切な支援に心掛ける

山下市長 ①憲法第25条で理念を定め、生活保護法第1条には「国が生活に困窮するすべての国民に対し、その困窮の程度の応じ、必要な保護を行い、その最低限の生活を保障する」と規定している。

具体的には、厚生労働大臣が定める「生活保護法による保護の基準」が示されており、国が健康で文化的な生活を保障していると考える。申請により、保護基準に該当する場合は、生活保護を受けることができることから、必要な人が利用

代表質問

できる制度であると考え

②有価証券などの例外を除き、申請時に資産があることを理由に、保護が受けられないということはない。

資産の処分や保留や使用については、個々の状況に応じ判断し、適切な支援が行えていることから、現在のところ国に改善を求めることは考えていない。

③原則本人からの聞き取りや戸籍などの資料を基に扶養義務者について事実関係を確認している。DV被害者や扶養義務者と20年間音信不通であることが分かっていた場合などは、県に確認し、照会すべきでないとされた場合は扶養照会を行っていない。

④ケースワーカーとして配属された職員は、社会福祉士主事の資格を有している。専門職として、法律に基づき、援護を行っている。市は毎年、県弁護士会・憲法委員会委員の弁護士を講師に迎え、人権に関する研修会を開催し、職員の資質向上を図っている。

問 公共交通の確保は

渡辺議員 ①市の公共交通確保の方針は。

②幹線へのアクセスを確保するためのタクシー利用補助を提案する。市の見解は。

答 移動支援構築指針を策定する

山下市長 ①市営バスとデマンドタクシーは、市全体を俯瞰し体系的に整備されたものではないため、運行日、運行本数、運賃など地域間でサービス水準に差異

が生じている。改善のための基礎資料を得ることを目的に、山梨大学に委託し、公共交通アンケートを実施した。アンケート結果を基に、移動手段・移動支援構築指針の策定作業を進めている。今月中に、パブリックコメントを実施する予定。

②これまでの移動支援策は、時々の課題に個別に対応してきた結果、事業が縦割りに実施されてきた。体系的に整理する必要がある。議員の提案は、策定中の指針を基に、具体的な施策を検討する際の参考にしたい。



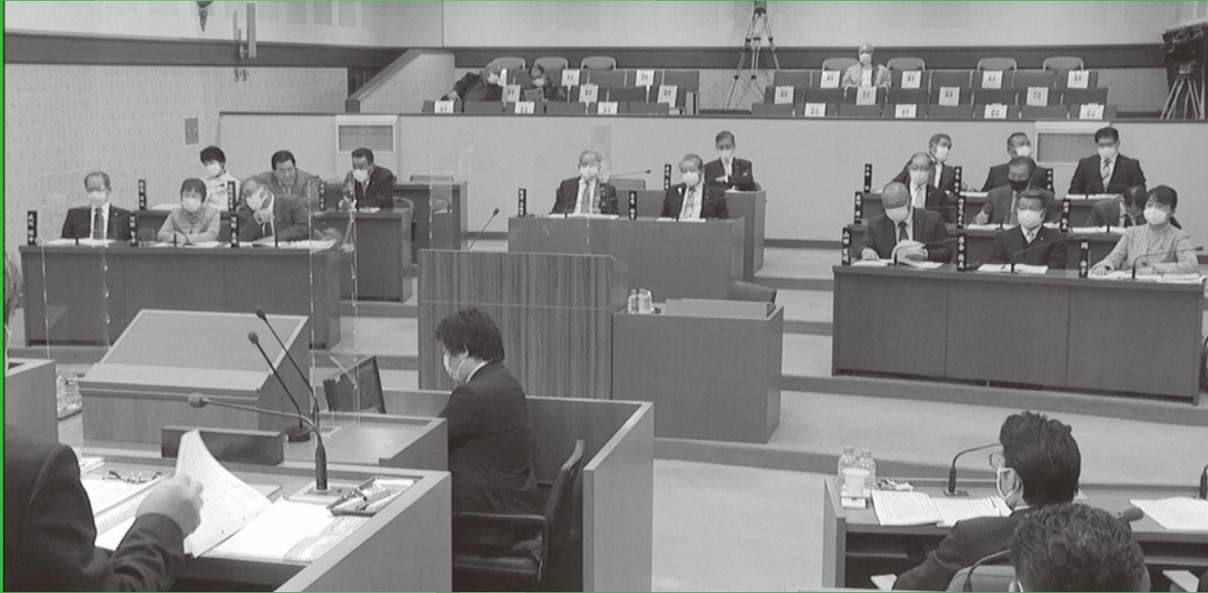
2月
定例議会

市民の声

質疑および一般質問

本会議では、8人の議員が質疑および一般質問をしました。

以下は質疑・質問と答弁を要約したものです。



一般質問



下成田公民館(土地・建物登記)

武川則幸議員 認可地縁団体とは、自治会、町内会など広く地域社会全般の維持や形成を目的とした団体・組織の中でも、地方自治法などに定められた要件を満たし、行政的手続きを経て法人格を得たものを指す。平成3年(1991年)4月に地方自治法が改正され、町または字の区域その他市町村内の一定の区域に住所を有する者の地縁に基づいて形成された団体は、地域的な共同活動



武川則幸議員
(笛新会)

問「認可地縁団体」の取得状況は

答 現在の認可数は32団体

のための不動産または不動産に関する権利等を保有するため、市町村長の認可を受けたときは、規約に定める目的の範囲内で、権利義務の帰属主体となることができる。

①認可の要件は。

②認可団体数、全行政区内の比率は。

③認可団体の不動産取得状況は。

須田総務部長 ①要件は4つあるが、1つ目は地域社会の維持や、地域的な共同活動を行うことを目的とし、現にその活動を行っていることと認められること。2つ目はその区域が住民にとり客観的に明らかなこと。3つ目は区域の個人が構成員となり相当数の人が構成員であること。4つ目が規約を定めていること。

②現在の認可団体数は32団体。中には行政区の区域と異なる団体もあり、132行政区を分母とすると、約24%となる。

③登記状況の把握は困難だが、固定資産税の課税台帳に記載されている土地・建物のうち、登録されているものは令和2年1月1日現在で土地132筆、家屋18棟。



渡辺清美議員
(公明党)

問 新型コロナウイルスに打ち克つために

答 免疫力アップ研修会を開催

渡辺清美議員 感染を防ぐことができる体づくりが重要だ。
①子どもから高齢者まで食育の取り組み強化が重要だ。見解は。

②高齢者が抗体能力を下げない食材や献立の紹介などに取り組み考えは。
飯島保健福祉部長 ①食生活改善推進員対象に、免疫力アップの研修会を開催予定。
②たんぱく質を多く含む食材を使っ



た調理方法の紹介や、調理が困難な高齢者には、栄養バランスの整った配食サービスの利用も勧めていきたい。

問 いじめ防止対策は

渡辺議員 ①不登校の生徒数は。
②アンケート結果とその対応は。
③スクールカウンセラーの効果は。
④スクールロイヤーへの見解は。
⑤地域の協力関係、取り組みは。
⑥いじめ匿名通報アプリの導入は。

答 小中学校が連携し協力

宇佐美教育部長 ①小学校33人、中学校91人。不登校の原因は複合的。
②件数15件のうち改善件数13件。
③全小中学校に配置、欠席日数減少や保護者を含めた心理負担が軽減。
④国や県の動向を踏まえ研究する。
⑤学校開放日や地域住民が授業や行事を参観するなど協力的体制を築き、小中が連携し学びと育ちを保障。
⑥先進事例を参考に今後研究する。



古屋始芳議員
(笛政クラブ)

問 先を見据えた魅力発信の施策は

答 地域産業の活性化を図る

古屋始芳議員 新型コロナウイルスで地域経済も影響を受けている。
①今後のシティープロモーションは。
②ふるさと納税のさらなる推進は。
③移住・定住の今後の取り組みは。
深澤総合政策部長 ①20〜30代の女性対象の戦略的プロモーションも展開。観光素材の発掘、女子旅モデルプラン、ブログや雑誌記事掲載の展開などで情報発信。



②寄附額は2月末現在で12億5千万円超、昨年度の年間寄附額の5倍を超えた。積極的な返礼品の開拓や、地域産業の活性化を図る。
③オンライン相談会などへの参加や、ふるさと納税の推進などを強化し、住宅取得補助も期間延長する。

問 防災危機管理体制の強化は

古屋議員 ①地区防災計画と災害時行動計画策定の支援は。
②避難所開設、運営の考え方は。
③防災備蓄倉庫の整備は。
④防災訓練・避難訓練のあり方は。

答 防災備蓄倉庫を整備

須田総務部長 ①指定避難所を単位とした行政区対象に、モデル地区として選定。計画策定とひな型を作成。
②定期的な換気などの対策を徹底し、避難所における感染を防止する。
③避難所ごとに防災備蓄倉庫を整備。
④感染防止対策を徹底し、運営方法等を確認するための訓練を実施。



岡 由子議員
(新風会)

問 防災施策を問う

答 女性参画を重点に推進

岡 由子議員 ①令和2年に防災基本計画が修正、市民環境部の役割は。②女性参画を促す取り組み推進は。③被災者の要望が高い備蓄の充実は。④学校で防災教育を進める考えは。

須田総務部長 ①防災・復興に関する意思決定の場への女性参画を促進。②国が定めた目標の30%に向け取り組み、女性の視点や意見を災害時の避難所開設などに反映する。



③粉ミルクの備蓄、洋式仮設トイレの配備など、充実・強化に努める。④危険回避能力や防災意識の向上に努め、家庭や地域、関係機関と連携し防災教育を推進していく。

問 地方創生から見るSDGsは

岡議員 SDGsとは持続可能な開発目標。

①官民連携プラットフォームに県内9市町村が会員登録、笛吹市が取り組む考えは。

②職員・市民対象に研修実施は。

答 官民連携プラットフォームに登録

深澤総合政策部長 ①官民連携プラットフォームに登録し、「ハートフルタウン笛吹」優しさあふれるまち」の実現に役立てたい。

②市のホームページにSDGsの考え方や、身近でできる取り組みの事例などを掲載。今後もSDGsへの取り組みを進め、まずは市の職員を対象とした研修を実施していく。



河野正博議員
(新風会)

問 民生費予算、生活保護は

答 予算現額は123億円

河野正博議員 ①令和2年度と3年度民生費予算額の比率と重点施策は。②3年度生活保護費歳出予算額は。③生活保護受給者人数と保護費額は。④受給者の自立支援施策と実績は。

飯島保健福祉部長

①令和2年度民生費当初予算額は116億993万円、令和3年度民生費当初予算額は118億3,291万円、一般会計歳出総額に占める割合は33.3%。病児・病後児保育事業、保育所施設整備管理事業、高齢者の保健事業・介護予防の一体的予防事業の3事業を掲げた。

②生活困窮者自立支援事業2,200万円、生活保護事業は14億6,800万円。

③生活困窮者延べ人数580人、生活保護受給者数は776人の予測。平均月額14万6千円、年間175万円。

④社会生活自立支援、日常生活自立支援などを実施、自立人数は5人。

問 近視対策とLED照明普及は

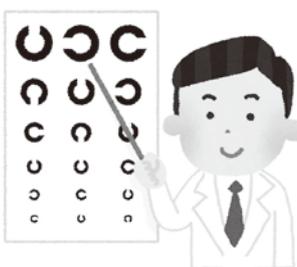
河野議員 ①学童視力最新結果は。②教育現場における対策は。③保育所、小・中学校の改修割合は。④LED照明改修工事の計画は。

宇佐美教育部長 ①裸眼視力0.7未満の児童生徒の割合は小学校で24.6%、中学校は43.2%。

②視力検査の結果を通知し、医療機関への受診を勧めている。

③LEDの改修、保育所は27%、小中学校は石和中のみLED化、その他については不具合の際に随時更新。

④園舎の新築、大規模改修・照明器具の故障時に行っている。今後は計画的な改修を検討する。





山田宏司議員
(新風会)

問 学校の教育と環境は

答 校内研究でICT活用の上

山田宏司議員 ①タブレット生産の遅れが危惧される。運用実施時期は。

②運用上の問題点と対策は。

③体力向上の取り組みは。

④不登校の人数が多い。取り組みは。

⑤カウンセリング体制強化は。

⑥教職員、担当部局職員の増員は。

宇佐美教育部長 ①全学校に設置完了、本格的運用は新年度当初から。

②教員の指導力の差が課題。校内研究でICT活用の向上に努める。

③体力テスト分析し重点項目を設定。運動量確保と意欲向上に努める。

④児童や保護者の意思尊重し、教育相談の充実に努めている。

⑤県が配置するスクールカウンセラーを、計画的に活用し、保護者の相談に応じる。

⑥増員は国・県に働きかけ、統合型校務支援システム導入し効率化推進。

問 新道峠展望台の活用は

山田議員 ①展望台アクセス方法、周辺整備、駐車場整備の計画は。

②自然環境、生活環境への影響は。



新道峠展望デッキ

③芦川地区活性化と観光客誘導は。

答 市道拡幅と

環境保全を両立

小宮山産業観光部長 ①沢妻亭駐車場から送迎車運行。市道拡幅も。

②トイレ設置や巡回など環境保全に努め、案内看板設置や車の誘導を図る。

③交流人口増で活性化を期待。旅行プラン企画で石和・春日居温泉郷の宿泊につなげることも検討。



荻野謙一議員
(笛新会)

問 境川町の浸水対策事業検証は

答 事業財源は主に合併特例債

荻野謙一議員 ①浸水対策事業における経緯と計画は。

②進捗状況と費用、今後の予定は。

③事業財源の構成は。

④コンサルの契約金額と選定理由は。

⑤雨量と排水量の数値は問題ないか。

⑥放流に問題はなかったのか。

⑦甲府市との協議内容は。

⑧境川町と大坪地区への説明会は。

⑨再調査の新コンサル会社内容と選定理由は。

⑩再調査の結果は。

⑪当初発注委託会社に問題はないか。

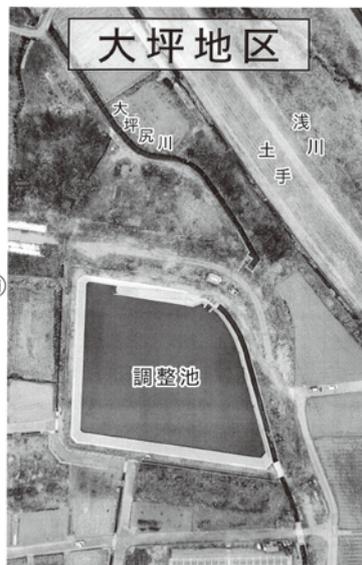
⑫今後の対策をどう考えているか。

標建設部長 ①大坪地区は浸水常襲地域、浸水対策事業を計画した。

②③工事費用6億5千万円、進捗率約75%。事業財源は主に合併特例債。

④事後審査型条件付き一般競争入札、契約金額は約5、370万円。

⑤⑨⑩実績があり検証可能な業者に契約金660万円で検証業務を委託。施設効率性の疑問などが示され、



当初委託業者の責任で照査を実施。

⑥⑦大坪尻川は甲府市の準用河川、甲府市と協議したが早期改修は見込まれなかった。

⑧合併前から浸水被害多発地域で、過去の降雨状況や浸水状況など各種情報で、浸水対策の基本的考え方をまとめ、地元地区との打合せ会などで意見を伺い、事業の説明会を実施。

⑫地域の安全や企業立地促進のため浸水対策を進める。下流域の改善が浸水対策に有益であり、下流の大坪尻川の維持管理や改修を引き続き甲府市に要望する。



河野智子議員
(日本共産党)

問 ひとり親家庭への支援を

答 子どもの観察で状況確認

河野智子議員 ①ひとり親家庭の雇用状況と把握は。

- ②学校・保育園を通じた実態調査は
- ③支援・相談窓口一覧配布と周知を。
- 飯島保健福祉部長** ①児童扶養手当認定者は、現況届で就労状況等把握
- ②学校では家庭訪問、保育園では保護者との対話や子どもを観察することで生活状況を確認。
- ③広報の号外を発行、新生児特別定額給付金等は都度、広報に掲載。ツイッターを利用し周知活動を強化。



問 ジェンダー平等社会の推進を

- 河野議員 河野議員 ①ジェンダー平等に対する市長の考えは。
- ②男性優位な現状をどう変えるのか。
 - ③市男性職員の育児休暇と対策は。
 - ④学校での取り組みは。
 - ⑤ジェンダーへの理解と取り組みは。
 - ⑥意思決定に女性が必要、対策は。

答 安心な社会を目指す

- 雨宮市民環境部長** ①平等で対等なパートナーとし、心豊かで安心な暮らしやすい社会を目指すと考ええる。
- ②⑤男女共同参画計画を策定し、男女共同参画推進委員と協働で、推進活動に取り組んできた。
 - ③5日以内で取得できる育児参加休暇は、対象者18人のうち14人が取得し、割合は77・8%。
 - ④個性と能力を発揮できる教育活動。
 - ⑥年齢・性別に捉われず、適材適所の考え方による職員配属を継続。

人事

教育員会教育長の任命

望月 栄一(石和町山崎)

任期 令和3年4月1日から3年間

固定資産評価委員の選任

坂下 勉(石和町山崎)

任期 令和3年4月1日から

黒駒山恩師県有財産保護財産区管理会の委員の選任

- 三浦 光宏(石和町八田)
- 田中 征吉(一宮町市之蔵)
- 古谷 文男(御坂町成田)
- 岩間今朝平(御坂町蕎麦塚)
- 橋田 和人(御坂町八千蔵)
- 河野 芳尚(石和町四日市場)
- 小池 洋一(一宮町末木)

任期 令和3年4月1日から4年間

牛ヶ額恩賜県有財産保護財産区管理会の委員の選任

- 飯田 国彦(八代町南)
- 一之瀬真澄(八代町岡)
- 大森 広(八代町南)
- 飯島 洋(八代町南)
- 篠原 英樹(八代町南)
- 渡邊 菊男(八代町北)

任期 令和3年4月1日から2年間



総務常任委員会

3月5日、6日、15日～17日の5日間、委員会を開催。付託された令和2年度一般会計補正予算、条例の一部改正4件、変更契約の締結1件、令和3年度一般会計予算を審査し、原案の通り可決すべきものと決した。主な質疑答弁は次の通り。

委員長	神宮司正人	副委員長	河野 正博
委員	神澤 敏美	荻野 謙一	
	中川 秀哉	渡辺 正秀	

〈総務部所管〉

- Q** 夏季休暇の取得は、期間が7月から10月だが、連続して取得してよいのか。
- A** 有給休暇を利用し連続で取得もできる。リフレッシュの意味もあり、休暇を取得してほしい旨、指導と環境づくりをしている。
- Q** まちづくり寄付金の詳細な説明を。
- A** 1月1日現在13件あり、本年は「コロナ対策として」とする寄附や高額な寄附も多く、例年に比べ合計金額が増えている。
- Q** 国庫委託金及び県委託金等の法定受託事務について経費が補償されているか。
- A** 国庫委託金の自衛官募集事務委託金は、募集に関する事務等が対象。また、県委託金は1000を超える各種移譲事務があり、前年度実績に応じ交付されるが、経費に対し金額が補填されず、市の一般財源を充てることが生じる。
- Q** 選挙費県委託金の算出根拠は。
- A** 有権者数等の実態に、県から示される選挙執行経費の算出基準を用いて算出。
- Q** 地区防災計画・わが家の災害時行動計画において、策定支援するモデル地区は1指定避難所、5行政区程度を考えていると説明があったが、決まっているか。
- A** 指定避難所や避難先となる行政区は今からお願いうるが、自主防災組織が整っている行政区から選定する。また、浸水想定区域や土砂災害区域ではない一般区域の複数の行政区が使用する指定避難所から選定する。
- Q** 八代分庁舎照明改修工事の内容は。
- A** 現在蛍光灯の箇所、全てをLED照明に改修する。
- Q** 八代分庁舎駐車場舗装工事は。
- A** 設計は新年度になってから行う。
- Q** 行政バス運行事業で行政バス1台の入れ替えは。
- A** 17年が経過し、老朽化が著しく更新の必要がある。利用状況を考え、購入と外部委託との比較を行った結果、購入の方が安価。

【意見】

行政バスは保育所、小中学校生徒が使用しており、安全性や利便性の面から考えると良いのではないかと。コロナ禍で財政面に苦慮しており、入れ替えはいかがなものか。また市内のバス運行事業者などが市に支援を求めている、市民感情からもいかなものかとの意見や、入れ替えには時期等を十分精査し検討するよう、などの意見があったが、市民の利便性やコスト面を考慮し、対応していきたいとの説明があった。



委員会審査の様子



〈総合政策部所管〉

- Q 笛吹市移住定住お試し住宅（上芦川）についての利用実績は。
- A 上芦川お試し住宅は使っていない。
- Q 廃止後の利用方法は検討しているのか。
- A 老朽化が進み取り壊す。ふるさと納税寄付金の、返礼品のシャインマスカットは、いつ返礼するのか。
- A 収穫時期に併せ返礼。
- Q 本年度のふるさと納税寄付件数は何件あるのか。
- A 約10万件以上ある。
- Q リピーターとして令和3年度も寄付する可能性は。
- A いかにもリピーターを増やすか、先進事例などを参考に検討し、魅力ある返礼品を揃え寄付額増を目指す。
- Q 地方創生総合戦略調整事業の内容は。
- A 戦略会議は6人の委員で構成。ほとんどが子育て世代で、第2期の計画は子育て世代や若者がターゲット。子育ての方々に議論をしていただき、市の取り組みに生かすことができる。
- Q 業務効率化事業は。

- A 令和2年度は、市役所業務の調査を行い、結果を基に令和3年度は業務委託し、業務改善を作成する。令和4年度以降、業務改善を具体的に進める。
- Q 子育て世代住宅取得補助事業は。
- A 2年度の補助件数は3月15日現在149件、うち新築物件が139件、中古物件が10件。
- Q シティープロモーション事業は。
- A 四季折々の映像6本程度を作成し、ホームページやイベントで活用していく。

〈消防本部所管〉

- Q 消防車両等整備事業は。
- A 35メートル級はしご付き消防自動車の2回目のオーバーホール。初回が運用開始から概ね7年、2回目が始回から5年、3回目が始回から5年の3回まで実施が可能。
- Q 地域振興促進助成事業は。
- A 1団体に最大100万円、最長3年間利用できる。

〈市民環境部所管〉

- Q 個人番号カード事務事業について、マイナンバーカードの交付率は。
- A 全国の交付率は25.2%、山梨県の交付率は23.7%、市の交付は2月末現在24.2%である。全国平均との比較では低いため、さらなる周知普及が必要。

【継続審査】

請願第1号「日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める請願」は、継続審査となった。

【説明】

はしご付き自動車の運用予定期間は20年を想定。機能特性から見て大型化多重

6月定例議会を傍聴してみませんか！

議会運営内容が確定後、市ホームページ上で会期日程・質問内容（表題）を公開しております。

令和3年第2回定例会本会議の日程（予定）

- 6月14日(月) 午後1時30分～ 本会議(初日) 市長行政報告・議案説明
- 22日(火) 午前10時～ 質疑および一般質問・付託
- 23日(水) 午前10時～ 質疑および一般質問(予備日)
- 30日(水) 午後15時～ 本会議(最終日) 委員会審査報告・討論・採決

- ※日程等に変更がある場合もあります。お気軽にお越しください。
- ※現在、新型コロナウイルス感染症対策として傍聴席（定員42名）を約半数にさせていただいております。
- ※常任委員会も傍聴可能です。詳しくは議会事務局までお問い合わせください。
- ※NNS・甲府CATV（10チャンネル）で、市議会の録画中継が見られます。

お知らせ

議会中継を八代庁舎1階（ロビー部分）に議会中継モニターが設置してあります。議会中継をご覧ください。

教育厚生常任委員会

委員長	武川 則幸	副委員長	河野 智子
委員	保坂 利定	古屋 始芳	
	野澤今朝幸	渡辺 清美	

3月5日、6日、15日～17日の5日間、委員会を開催。付託された令和2年度一般会計補正予算、特別会計予算、条例の一部改正5件、令和3年度一般会計予算、特別会計予算を審査し、原案の通り可決すべきものと決した。主な質疑答弁は次の通り。

〈保健福祉部所管〉



委員会審査の様子

Q 石和西小学校児童保育室改修事業で、石和西小、児童保育室改修工事費不足の要因は。

A 給食棟の改修で、ダクト等の設備の撤去費用や、水回りの床勾配についての設計の見直しなどである。

Q 新型コロナウイルス感染症対策事業および新型コロナウイルス感染症予防疫接種事業で、集団接種の会場と医師に支払う報酬は。

A 集団接種は市が実施主体。集団接種会場として笛吹中央病院の施設を借り、土曜日か日曜日を予定している。市内各病院では個別

接種で、集団接種会場は笛吹中央病院1カ所で準備している。また、個別接種の実施主体は個別の病院で、市内病院8カ所の内5カ所を予定。集団接種の医師の報酬は、1時間当たり1万円を予定しており、医師会にお願いして当番制となる。

Q 集団接種は1日何人程度受け入れられるか。

A 半日で約240人を予定。待機時間等も考え、無理のない体制を予定している。

Q 65歳以上のワクチンの接種体制は。

A ワクチンが予定通り届くと仮定し、集団接種、個別接種を市内約20カ所で行ったとして、8月末ころに接種率80%、2回の接種ができる計画を組んでいる。

り減少しているが、収納率は昨年度の同時期に比べ上回る数字となっている。

Q 境川観光交流センター使用料の減額は。

A 緊急事態宣言や外出自粛で営業時間を短縮。当初の入館者数、約6万人の見込みに対し、今年度の見込みは2万人程度で、利用人数の低下が要因。

Q 農家も忙しくなる時期。営業時間短縮で、現在は午後7時までの営業だが、今後の状況により営業時間延長も考えても良いのでは。

A コロナの状況をよくみながら検討していく。

〈教育委員会所管〉

Q 八代小特別教室空調設備設置工事の内容は。

A 理科室・音楽室の改修で2台を予定。教室の広さがそれぞれ約130㎡で部屋の高さもあり、設計上では1台約300万円程度である。

Q 市内小中学校特別教室の空調設置率は。

A 全体の42%、今後、一括で対応することも視野に



青楓美術館視察の様子

入れて検討している。

Q 現在の市のスクールパスの台数は。

A 御坂が2台、八代1台、境川1台、芦川1台。

Q 民間委託などの方法を検討した経過があるか。

A 境川は現在民間委託。トータル的に考え、長く使用すること、正規職員の運用手もあり、自前のほうが経費的にも良いという考え。

〔審議未了〕

令和2年請願第1号「高すぎる国民健康保険税の引き下げを求める請願について」は、1年間継続審査となったため。

建設経済常任委員会

委員長	小林 始	副委員長	山田 宏司
委員	岡 由子	落合 俊美	
	中村 正彦	海野利比古	
	前島 敏彦		

3月5日、6日、15日～17日の5日間、委員会を開催。付託された令和2年度一般会計補正予算、事業会計予算、条例の一部改正2件、令和3年度一般会計予算、特別会計予算、事業会計予算を審査し、原案の通り可決すべきものと決した。主な質疑答弁は次の通り。

〈建設部所管〉

- Q** 3カ所の公園を都市公園にするメリットは。
- A** 都市公園は防災や景観面、子育て・教育効果など9項目の効果が期待されている。現状の公園は10年・20年が経過しており、機能維持のために施設の更新や継続的な修繕が必要となるが、都市公園とすることで国の補助金の活用や、地方債の発行が新たにでき機能維持や機能向上が図られる。
- Q** 都市計画道路見直し事業の詳細は。
- A** 国・県・市で計画決定している都市計画道路が10路線。内訳は整備済みが4路線、一部整備が3路線、未整備が3路線。計画道路の全延長17,470mのうち整備済みが7,244m、残り10,226mが未整備。今回の見直し事業は「鵜飼橋松本線・石和本通り線・文化川中島線・八田線」の4路線が対象で、令和3年度から3年計画で行う予定。3年度は見直しの業務委託を行い、アンケート調査、現状計画決定されている路線について、必要性の

検証や課題の整理をする予算を計上。

Q 最終的な手続きは。

A 交通量調査や都市計画道路として規制を受けていた関係住民などの意向を聞き、廃止を含む見直しの検討や地元説明会を開催し、都市計画審議会に諮問する。

〈産業観光部所管〉

Q 観光宣伝事業の「無尽でお助け、めざせ！みんなで100億円キャンペーン」の上乗せ事業のクーポン有効

期限と繰越明許理由は。

A 3月から新たにグリーンゾーン認証を取得した施設を対象に加えた県の事業が再開され、市も県と歩調を合わせ、上乗せ事業実施のため繰越明許を行った。

Q 県営土地改良事業の完了年度は。

A 畑地帯総合整備計画の黒駒西地区が令和6年度、藤笠地区が令和8年度、一宮南部地区が令和9年度、御坂桃源の郷地区が令和10年度、梅沢・日向山地区が令和7年度、八千蔵・蕎麦塚地区が令和10年度となっている。また、中山間地域総合整備事業の黒駒東地区が令和6年度。

Q 新道峠展望台整備事業の進捗状況と完成後の運営方法は。

A 令和3年7月完成予定。展望台の交通アクセスは、市の施設「すずらの里」を起点に、食事処や釣り堀、そば打ち体験を楽しんでいた「おごっそう家」「藤原邸」「すずらん群生地」などの芦川の観光施設を経由する送迎ルートに変更した。市内5事業者の笛吹市バス協議会

に業務委託し、送迎を8月から11月までの4カ月間、中型バスで実証実験を行う予定。また「日本一の富士山を眺望できる」観光施設としてPRし、今後の総合的な整備や運営方法を検討していく。

〈公営企業部所管〉

Q 水質検査業務委託小規模水道分、補助金の地区小規模水道の数および水質は。

A 御坂町に8地区、境川町に2地区、八代町に1地区、合計で11の地区水道があり、個別に水源を持ち、使用料も独自に設定して自主運営している。検査結果は4半期ごとに県の衛生薬務課に提出しているが、水質は良好で安心・安全な水となっている。

〔現地調査〕

3月5日に市道廃止・認定に伴う現地調査を行った。



市道廃止・認定の現地視察の様子



今日も歩く

桃とぶどうの郷を



一宮町田中
中村 幸弘

私は、豊かで健やかな老後を過ごすため、その手軽さや安全性に適しているウォーキングを始めました。

1日の歩数は、5千歩を目標に、桃やブドウ畑を結ぶ農道、笛吹川や日川の土手道、森林公園金川の森遊歩道等を楽しんでいます。

歩行中には、犬と散歩している同級

毎日反省 毎日感謝



石和町下平井
内藤 桂子

皆さまお元気ですか。令和2年はコロナ禍のために、楽しい家庭が変わってしまいました。

3密を守り、マスクをし、外出しないように努め、区や老人クラブの事業

生との再会、畑で作業をしている人や散歩中のご夫婦との会話、下校中の小・中・高生とあいさつを交わすなど、さまざまな出会いがある半面、誰とも会わない日もあり、そんな日は風景を楽しみながら歩いています。

近ごろは、携帯電話がとても便利になり、アプリを利用するとその日の歩数が自動的に記録されるため、雨の日などは、今までの記録を振り返りながら、妻とお茶を楽しんでいます。

今日もまた、富士山や南アルプス山々の雄大な景色を眺めながら、桃とぶどうの郷を歩き、もうすぐ訪れる新緑のさわやかな香りを感じています。

も全部中止になりました。

そんな時、ある新聞を目にしました。このような年は自分の人生を反省し、これからの生活を考える年です、と書かれていました。健康であれば何でもできると、体力作りに努めるために、ウォーキングを始めました。

周囲の景色を見ながら、雪の山々、朝やけ、夕やけの太陽の赤、散歩中の犬に声をかけ、椿や梅の花を見、歩けることに感謝しています。

表紙説明

境川保育園卒園式と フッキー、モモッピーと 遊ぶ園児たち

撮影日 令和3年3月27日(土)

撮影場所 境川保育園

撮影者 笛吹高校写真部

(桑原奏亜さん、島津航羽さん、笹本慶さん)

編集後記

春は甲府盆地がピンク色に染まる美しい季節です。お祭りやイベントが多く開催され、市民も心躍る時です。しかし、今年はコロナ禍で先行きが不安に思う方も多いことでしょう。

議会だよりでは、大切な税金の使いみちや施策をわかりやすくお伝えできるように、試行錯誤しております。編集委員一同の努力の結集をご一読いただければ幸いです。

今年には行事の少ない中ですが、季節を感じていただけるよう表紙の写真にも工夫を凝らしてまいります。乞うご期待。

議会広報編集委員会

副委員長 岡 由子